

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 17 日

事業名称		清原図書館事業費 [清原図書館の運営事業]										
予算科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	3	図書館費	事業番号	4	
事業の種別		☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名		中央図書館				課		清原図書館		係 課長名 當摩 弘		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		1 - 2		
【施策名】生涯学習の充実								総合計画書 (ページ)		35		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民					市の人口 (平成31年4月1日現在) →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]読書意欲を喚起する。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 貸出冊数 →						
	③ そのために何をしましたか。 新刊、リクエストがあった本の購入。人気があり、利用が多く、その結果傷んだ本の買い替え。内容が古くなった資料の更新。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 図書・雑誌購入冊数 →						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	人	85,698	85,337	85,226						
	成果指標	②の数値	冊	131,982	128,279	115,735						
	目 標	②の目標値										
		目標値設定の考え方										
3 経費	事業費(実績)		円	7,838,467	7,758,753	7,425,195	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	5,124,317	4,357,543	4,565,749						
		特定財源	円	2,714,150	3,401,210	2,859,446						
		(うち受益者負担)	円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0						
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円	16,488,000	16,488,000	16,620,000						
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	24,326,467	24,246,753	24,045,195							
4 環境変化等	(1) 開始年度 平成19 年度											
	(2) 環境の変化 「第二次東大和市子ども読書活動推進計画」の制定により、児童サービスや学校等との連携の充実が一層求められている。 開館日の増を求められている。											

事業名称	清原図書館事業費 [清原図書館の運営事業]			
担当部署・課長名	中央図書館	課	清原図書館	係 課長名 當摩 弘

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ●開館日、開館時間の拡充について ●図書資料や施設管理の衛生面の改善について ●図書館の基本計画について／図書館についてのビジョンを示すべきである。 ●自動貸出機の導入について／機械化によりサービスを充実することができるのではないか。 ●小平市との相互利用について			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：③⑦ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
	図書館のボランティアは、どの分野においてもある程度の専門技能が必要であるため、継続的な育成が必要である。			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	①整架・除架等書架維持管理にあてる時間の確保。 ②展示コーナー、館内案内黒板等の有効な活用。読書意欲を高めるさらなる工夫。 ③学校、保育園、幼稚園との連携。積極的に団体見学を受け入れ、本の魅力を広める。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 ●毎朝優先的に整架する時間を設け、書架環境の維持に努めた。 ●古い資料の更新とともに、利用動向、社会動向を注視しながら、新規図書を購入した。 ●書庫スペースを有効活用するため棚板を追加購入した。 ●案内看板やディスプレイを工夫しつつ、テーマ展示を積極的に展開した。 ●学校等の見学を受入れたほか、学童保育所での出張おはなし会を行った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ①情報が古い資料の積極的な除架、および日常的な整架により書架環境の維持を図る。 ②新鮮な展示テーマの開拓や、案内黒板等の活用により、読書意欲の向上を図る。 ③学校、学童、保育園、幼稚園との連携。見学の受け入れや図書館情報の提供により、読書環境を醸成する。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名：生涯学習の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ●図書の購入にあたり、常に書架及び利用動向、社会動向を注視する。 ●内容の古くなった資料の更新を行いつつ、将来への財産として残す蔵書にも目配りが必要である。特に開館当初からある蔵書について内容の精査を行うべきである。 ●利用者からのリクエストに誠実に対応しつつも、特定の分野に資料が偏らないよう留意する。 ●書庫スペースの有効活用。 ●第3木曜日の定期休館日は、極力書棚の維持管理に時間を割く。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	①整架・除架等書架維持管理にあてる時間の確保。 ②展示コーナー、館内案内黒板等の有効な活用。読書意欲を高めるさらなる工夫。 ③学校、保育園、幼稚園との連携。積極的に団体見学を受け入れ、本の魅力を広める。			